狭山市立堀兼中学校

学びの道（学びのたより）

学校だより　第６号
令和８年　５月２７日
狭山市立堀兼中学校
校　長　　田中正悟

『毎日たくさんの笑顔の花が咲く堀兼中。温かいなぁ。』

堀兼中の笑顔の花

【生徒朝会】

５月２６日（火）、生徒朝会がありました。生徒朝会では、環境委員さんが“清掃”についての寸劇を通して、清掃時についての大事なことを掘中のみんなに伝えてくれました。また、その後には、もうすぐ開催される学校総合大会に向けて、各部の部長が代表して壇上に立ち、フロアの部員の仲間と一緒に、大会に向けての意気込みを表現してくれました。文化部のみんなも、運動部の皆さんへのエールと自分たちの活動への気持ちを合わせたメッセージを表現しました。さらに、部長会からは哲学的な『本当に○○部は、○○なのか？』というお題で、奥の深い表現活動を見せてくれました。フロアの生徒たちも先生たちも、その哲学的な表現活動に笑顔の花が咲いたような表情をしていました。生徒朝会の開催にあたっては、生徒会の皆さんや放送委員の皆さんが、皆さんが体育館に集合するずっと前から準備をしてくれています。本当に感謝です。

写真が２枚

『おめでとう』

【表彰】 第47回　中学生選抜将棋選手権・埼玉県大会　優勝　○○○○さん

『優勝、おめでとう。素晴らしいです。○○さんは8／3、8／4に山形県天童市で行われる全国大会に出場します。　『今度の学校朝会で表彰します。がんばって！　掘中みんなで応援しています。』

【校長面接】

今、３年生の生徒の皆さんと校長面接を行っています。昼休みと放課後の時間を活用しての、一人１０分程度の面接です。校長の私は、３年生の一人一人とほんの１０分程度だけれども、面接を通して対話ができることに有り難さを感じています。校長室に入ってくる３年生はみんな何かしらの緊張感を持って入室してきますが、その緊張感も大事にしながら、君自身を私に表現してください。素敵な生徒の皆さん一人一人との貴重な時間を、私も大切にしたいと思っています。

校長コラム

掘中の一人の生徒とお話ししたことを皆さんにも紹介します。

それは『がんばれ』という言葉についてです。

『がんばれ』を漢字で書くと『頑張れ』と書きます。

なんだか、この二つの文字★『頑』★『張』　息苦しさを感じるなぁ、窮屈さも感じるなぁ　と思い、この二つの文字を辞書で調べてみました。そうすると、

★『頑な（かたくな）』…だれがなんと言おうと、自分だけの考え・態度をつよく持ち続けようとする。（例：かたくなに自説にこだわる　類語…強情　がんこ）

★『張る（はる）』…（たくさん例はあるのですが、その中から、◆腹や胸がふくれて、皮が突っ張ったような感じがする。◆緊張する　◆度を超える　◆強く盛んにする　◆大きく見せようとする（等）（例：肩や胸をそらせて、自分を大きく見せようとする　気が張る　欲を張る（等））

けれども、私はこの言葉は好きです。やっぱり、今の自分を成長させたい、向上させたい、超えたいと思うと、頑張ることって大切だと思うから。

しかし、心が辛いとき、心にエネルギーが湧かないときは、「頑張れ」と言われると、辛いしなおさら苦しくなることもある。だからこそ、そんなときは、「がんばれ」の声は受け入れがたい。けれども、「がんばれ」と応援していただけることは、有り難いし、温かさを添えて『がんばって』と声をかけていただけると、感謝が湧いてくる。

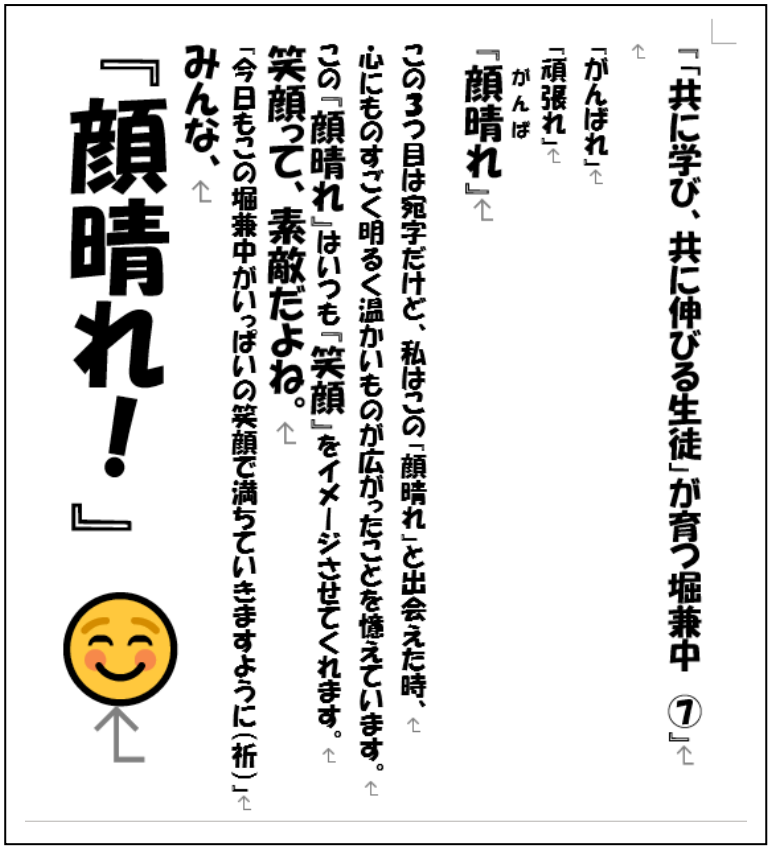
私は、『がんばれ』を『頑張れ』ではなく、あて字だが、『顔晴れ』と文字で書くことがある。これは、『(*^o^*)』『笑顔』を意味している。

笑顔って、人の心を明るくするよね。人の心を温めるよね。笑顔って、自然と人にも自分にもプラスのエネルギーを与えてくれるものだと私は感じている。

笑顔☺『顔晴れ（がんばれ）』

いつもこのような人で私はありたい。

『「共に学び、共に伸びる生徒」が育つ堀兼中』コーナー



『学びの姿　学びの事実』写真集

写真２枚